



# あまぬまだより

<http://www.suginami-school.ed.jp/amanumashou/>

杉並区立天沼小学校

## 奇跡をおこす日々の積み重ね

副校長 一ツ柳 秀美

奇跡が起きてほしい!と願う一瞬。

10月6日の開校五周年大運動会では、そう願う瞬間が幾度もありました。前日のリハーサルでは、どの学年も満足した出来栄ではありませんでした。しかし、難しかった技や集団演技が、次々と成功していきました。わが子の真剣な表情やグループ・学年が心をつにして取り組む姿に涙腺が緩んだ方が多かったのではないのでしょうか。その奇跡の大成功に、子どもたちも教職員も満面の笑顔でした。保護者と会場の皆さんの熱い応援のおかげです。本当にありがとうございました。

やり遂げた充実感を知った子どもたちは、次の目標に向けて自発的に動き出しています。6年生は、連合運動会に向けて、5年生は連合音楽会に向けて、3・4年生も12月の長縄大会に向けて、朝や休み時間に練習に取り組んでいます。

10月15日(月)に、一日校長として来校した朝日健太郎選手も、ロンドンオリンピックの切符を手にしたことは奇跡と云われます。中国・福州で行われたアジア大陸予選では14カ国がアジア枠「1」をめくり争いました。日本チームはここ数年勝つことができず、第6シードと強豪国の座から滑り落ちていました。そのうえ、朝日選手は昨年、白鳥選手とのコンビを解消。紆余曲折の末、再結成したのは今年に入ってからで、準備不足、練習不足のまま最終予選に臨まざるを得ませんでした。では、なぜ勝利を手にし『福州の奇跡』は起きたのでしょうか? 1つは、トーナメントの組み合わせにありました。オーストラリア等の強豪国が日本とは反対側のブロックにあったこと。さらに気候が、亜熱帯モンスーンで海に近いこともあって、湿度が連日70%を超え、快晴と豪雨が目まぐるしく変わり、いったん晴れると気温は35度まで一気に上昇するなどして、強豪国のチームはコンディションを崩し、調整に苦しんだこと。さらに、風があまり吹かなかったことも幸いしました。それらの運を招いたのは、朝日選手を

含む代表4人の努力と思いでした。結束力を強くしての苦しい戦いの末の「奇跡」だったのです。

朝日選手からの「オリンピック出場等の大きな夢に向かって突き進んでほしい」との話は、子どもたちの心にストレートに響きました。

学校は、毎日ができないことへの挑戦の日々です。集団競技では、繰り返し練習をして、その振り返りをし、改善点を見出してはまた、取り組みました。その積み上げの中で、自律心・忍耐力・克己心などの特性が滋養されます。その特性こそが生涯の生きる力となり、自分らしく人生を謳歌できるための基礎になります。1ヶ月にわたる運動会の練習は時間と体力との戦いの連続でした。今年はいままでの練習がなかったことも、努力を重ねる回数と時間だけ心と体が鍛えられてると信じて、「もう1回!もう1回!」とあきらめず、勇気をだして、ありのままの自分に自信をもって、目の前の課題に挑戦し続けてほしいと願います。

私ども教員は、奇跡の成長を遂げる基礎づくりを日々の授業を工夫し、丁寧に指導することで保証していきたいと考えます。

運動会当日の午後3時には雨雲が到来するという予報のため、下校に間に合うように、会を早めに進めようと考えていました。後日、聞いた話ですが、区内の運動会で、午後は大雨のため中止したところがいくつかあったとのことでした。中野や三鷹も雨でした。実は奇跡の天気だったのです。子どもたちを含めた皆さんの大成功させたいとの思いが天をも動かしたと確信しました。

### お知らせ

10月18日から1年2組の阿久津主任教諭が出産休暇に入りました。体育専科だった平林教諭が担任を引き継いでいます。なお、体育TTは、臨時的任用教員として赴任した川添太郎が担当いたします。

### ..... 今月の目標 .....

#### 生活

落ち着いた生活をしましょう

#### 保健

姿勢をよくしましょう

#### 給食

感謝して食事をしましょう



# 11月の行事予定



## 学校支援本部コーナー

日	曜	行事予定
1	木	社会科見学(3)
2	金	連合運動会予備日 読書週間終 小児習慣病予防検診 SC
3	土	
4	日	4年生 希望者他
5	月	全校朝会 クラブ活動⑤
6	火	お話会6年 かけあし低 SC
7	水	読書タイム
8	木	社会科見学(4) 天沼FP
9	金	授業公開①(月曜時間割クラブ⑥あり) かけあし高 SC
10	土	授業公開② 避難訓練 特別時程 給食なし
11	日	
12	月	全校朝会 委員会活動⑦ SC
13	火	特別時程 午前授業 お話会1年 就学時健診14:00~16:00
14	水	水曜特別時程
15	木	天沼FP たてわり遠足12:20~13:50
16	金	かけあし高 お話会2年 お店番体験(3) SC
17	土	
18	日	開校五周年記念祝賀会
19	月	全校朝会 クラブ⑦
20	火	かけあし低 お話会4年 SC
21	水	
22	木	音楽集会④
23	金	勤労感謝の日
24	土	
25	日	
26	月	健康朝会 クラブ⑧ 長縄週間始
27	火	お話会3年 SC
28	水	区連合音楽会(5)PM フォローアップ⑧
29	木	児童集会⑤ 午前授業 理科教室(1)
30	金	午前授業 SC

※SCはスクールカウンセラーの来校日

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラーズ)の活動を一部紹介します

### ◆学習補助プロジェクト…授業のサポートや校外学習の引率補助などを行います。

低学年の生活科見学では、引率のお手伝いと現地での見守りをしています。広い公園には、多くの学校が遠足や校外学習に来ているので、遠くからでも目立つように、学校支援本部の「あまぬまTシャツ」を着てお手伝いをします。また、事前に学年の先生方と打ち合わせをして、気をつけることや見守りのポイントなどを確認してから当日の引率に臨んでいます。

### ◆土曜日学校ハッピーさたでい

ハロウィンは160名以上の参加があり、楽しく終えることができました。お菓子の家、引率に、多くの皆様のご協力をいただきました。ハピさたの運営は皆様のご協力がなければ進めることができません。これからも皆様と一緒に充実した活動にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



### 今後の予定

12月1日(土) 芋煮会

12月15日(土) ハピさたクリスマス  
《グリーンフィル ウィンターコンサート》

## 学校運営協議会コーナー

### 社会性を育む

学校運営協議会委員 大石 秀明

私は現役のパトロールですが、天沼の子供たちには「おやじの会でいつも怒鳴っているおやじさん」「パドスマの土日限定コーチ」といった方がわかりやすいかもしれません。

さて、私は人材関連の会社に勤務していることもあり、企業の経営者や採用担当者の方々と、平日頃から「企業が求める人材像」について意見交換をさせていただいています。「求める人材像は?」と尋ねると、「同年代の友だちだけではなく、世代を超えてコミュニケーションをとれる人材」という答えが最近、増えてきているように感じます。逆に若手社員たちからは、「社会に出た途端、いきなり異世代の人たちと接することになって戸惑った」という話をよく聞きます。小学校は、子供たちが初めて身を置く『社会』そのものです。同世代の子供も同士だけでなく、保護者や地域の方々などたくさんの大人たちとふれあい、つねに異世代の存在を意識することが、子供たちの社会性を大きく育むことにつながると思っています。

そこでお願いです。保護者や地域のみなさん!ぜひ気軽に学校に足を運んでいただき、子供たちが営んでいる「社会」に加わってください!どんな話でもいいので、子供たちに話しかけてください!幸いなことに、天沼小学校にはPTAの委員会活動や学校支援本部のハピさたイベントなど、私たち大人が学校と接点をもつ「きっかけ」がたくさんあります。実際に学校に足を運んで子供たちと接してみると、「『自分にとってはごくごく当たり前のこと』が、学校や子供たちにとっては貴重な知識やノウハウである」という場面に出くわす機会がたくさんあるんです。

私自身、学校での時間は子供たちからたくさんの喜びや感動をもらえる、本当に「かけがえのない財産」となっています。皆さんが思う以上に、学校は皆さんを必要としています。さあ、学校へ行きましょう!

### ◎次回日程

11月27日(火) 17:00~ 3校合同(天沼中・沓掛小・天沼小)運営協議会 於:天沼中学校

## 平成24年度 体力テストからみる天沼っ子

実施日 平成24年6月実施

実施種目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走・立ち幅跳び、ソフトボール投げ

### 全国と天沼小学校の平均値の比較

※○：全国平均を上回っている数値、▲：全国数値より下回っている数値

#### 成果 《20mシャトルラン、反復横とび》

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
20mシャトルラン(秒)	男子全国	17.3	26.6	35.6	45.8	53.7	62.8
	本校	○ 17.8	○ 33.1	○ 37.1	○ 50.7	○ 54.5	▲ 62.4
	女子全国	14.1	20.7	26.7	34.4	41.2	48.4
	本校	○ 16.5	○ 22.1	○ 31.3	○ 39.9	○ 45.1	○ 50.1
反復横とび(回)	男子全国	27.0	30.7	34.4	38.3	42.0	62.8
	本校	※ 26.8	※ 30.6	▲ 32.1	○ 38.7	※ 41.8	▲ 62.4
	女子全国	26.2	29.4	32.7	36.2	39.5	42.1
	本校	※ 25.8	○ 30.6	※ 32.0	○ 37.1	○ 42.6	○ 43.3

20mシャトルランは、昨年度に引き続き、ほとどの学年も全国平均を上回る数値となりました。本校が継続して取り組んできたかけあしや天沼フレンドパークなどの走力向上への取り組みが、結果に結びついていると考えられます。

反復横とびは、昨年度は全国平均を下回る結果が多く課題として考察されていましたが、今年度は全国平均を上回る学年も多く、※印のついている1年男女・2年男子・3年女子・5年男子に関しては、全国平均は下回ったものの都平均を上回るなど、全体で大きな伸びを見せました。

#### 課題 《ソフトボール投げ、立ち幅跳び》

		1年	2年	3年	4年	5年	6年
ソフトボール投げ(m)	男子全国	9.2	13.3	17.9	22.5	26.4	30.6
	本校	▲ 7.1	※ 12.7	▲ 14.1	※ 22.4	※ 23.8	▲ 26.0
	女子全国	6.0	7.8	10.3	12.9	15.1	17.8
	本校	▲ 5.0	7.8	▲ 8.9	※ 12.6	※ 14.4	▲ 12.9
立ち幅跳び(cm)	男子全国	114.7	126.2	137.0	146.1	155.3	165.4
	本校	▲ 110.2	▲ 121.0	▲ 129.0	▲ 142.5	▲ 151.0	▲ 161.4
	女子全国	105.8	117.2	126.6	137.3	146.1	154.6
	本校	▲ 98.9	▲ 115.9	○ 128.1	▲ 134.3	○ 149.1	▲ 150.5

ソフトボール投げは、昨年度に引き続き本校の課題となっています。※印の2年男子・4年男女・5年男女に関しては、全国平均は下回りながらも都・区平均は上回っています。しかし、現状として、本校の大きな課題です。今年度より天沼フレンドパークの取り組みにおいて、全力でシャトルを投げ合う「シャトル投げ」の活動を取り入れており、体力テストの実施された6月には成果こそあらわれませんでした。次年度の結果には反映されてくるのではと期待されます。

立ち幅跳びに関しては、全国平均を下回る数値は多いのですが、昨年度の本校の実施結果と比べると、男女ともに平均5.8cmずつ向上しています。立ち幅跳びに求められる「脚筋の瞬発力」や「体全体を使ったフォーム」といった要素が、本校の行う体づくり運動の取り組みによって向上し、本種目に活かされたと思われます。

以上の考察を生かし、体育の授業や休み時間以外でも、かけあしや天沼フレンドパーク、長縄などといった本校独自の取り組みによって児童の体力向上を目指していきます。

### 校内研究 体づくり(心食体) No.5

保健分科会担当 主任教諭

#### 健康・安全な生活を支える土台作り

5年1組担任 日向寺 勝彦

近年、社会環境や生活様式の変化など様々な影響により、子どもによる交通事故の増加や生活習慣病、心の問題など様々なことが課題となっています。

6月に実施したアンケートでは、廊下で走っている児童がいたり、教室環境を整えていない児童がいたり安全に配慮した生活を送っているとは言えない結果が出ています。この現状が続くと、大きなけがにつながったり、人への危害が発生してしまったりと様々な危険につながってしまう恐れがあります。これらの問題解決のために「保健」の学習で身近な生活の中での安全や健康面での課題を授業などで取り上げ、その解決方法を考え、その中で正しい知識を習得し、さらに自分の生活に当てはめて実践できるように指導に当たっています。

今回実施した5年生の研究授業では、「けがの原因」について取り上げました。天沼小学校のけがの起こりそうな場所についてグループで考え、その中で様々な気づきが生まれ、けがには、心・体調が原因となって起こるものと、人の行動・環境が原因で起こるものがあるということに気がつきました。次回は、どのようにしたらけがを防げるかということを考えていきます。



平成24年度 東京小学校体育都研究会 体づくり運動領域 低学年・中学年部会実証授業

10月22日(月)都内外からの130人の来校者が、2年2組と4年2組の体育の授業を参観。全体テーマ「生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身につける体育学習」のもと、「体づくり運動」の研究に取り組みました。2年生では「天沼にんにんランド」と称して多様な動きをつくる運動遊びをグループごとに取り組みました。「ドロン」「ニンニン」の掛け声も元気いっぱい、会場が熱気にあふれました。4年生では、フラフープを使って組み合わせた動きを自分で考えるとともに、友達のよい動きを見つけ自分の運動に取り入れていくという内容でした。

その後の協議会では、山梨大学教授の中村和彦先生から「体づくり運動がつなぐ心と体の育みに向けて」と題して講演がありました。『子どもの体力低下が明らかになり、現代の3・4年生は25年前の5歳(年長)児と同様な動作発達段階であるという研究結果がある。私は、学校体育として運動の日常化・生活化への取り組みとして、実証授業を繰り返してきた。子どもが運動遊びに面白くのめりこむこと、体を動かすことが好きになること、体の動かし方やコツが分かること、仲間とかかわることの4つの視点が含まれた授業内容を工夫することで基本的な動きを習得でき、体力と運動能力が向上することが分かってきた。』

本校の中学年のアンケートでは、体育の授業が好きな子どもは94%、体力に自信がある子どもは67%、休み時間や朝遊びに外でよく体を動かしている子どもは59%、放課後、外でよく体を動かす子どもは46%と、運動が日常化しているといえる実態には厳しいものがあります。来年11月15日には、本校で全国大会が実施されますが、1年間かけて体づくり運動の研究を進めながら、体力向上につながる一日60分以上の運動の日常化を目指してまいります。



震災救援所防災訓練



10月14日(日)午後1時から地域の防災訓練が行われました。あいにく小雨がパラつく中での訓練になりましたが、250名を超す参加者があり、有意義な時間が過ぎました。避難者として参加された地域の110名の中には、天沼小の児童や保護者の姿もあり、また、卒業生で天沼中の中学生レスキュー隊のメンバーもいました。

本部実行委員(受け入れ側)は、4つの部「施設管理部」「救護支援部」「物資配給部」「庶務・情報部」に分かれ、避難者と共に、救援所の設営、アリーナのパーティションによる仕切り、簡易トイレの組み立て、炊き出し等物資の配給、消火訓練、煙体験等を行いました。

最後に、渡邊本部長から「本日の経験を生かし、意見交換を十分行い、天沼小が震災救援所として、しっかり機能していけるよう、今後も協力してほしい。」という挨拶があり、約2時間の訓練が終わりました。

《参加された方の感想》

- 地域の皆さんの参加が思ったよりも多くて、防災意識の高さを感じました。一丸となって取り組んでいる姿に驚きました。(PTA)
- 心臓マッサージがかたくて大変だった。本当の時はがんばろうと思う。(子ども)
- 初めて参加しました。煙ハウスでは、まっすぐ歩けず、出口が見つけれずに大変でした。心臓マッサージのポイントもわかりよかったです。次回も参加して、いろいろと学びたいと思いました。(保護者)
- 担架で人を運ぶのが、思ったよりも重くて、大変でした。訓練にこんなにたくさんの人が関わっているのを知り、私たちも日頃からもっとがんばっていかなければと思いました。(中学生レスキュー)
- テレビの中でしか見たことのない震災用のトイレや、段ボールのパーティションに触れて、やってみて分かることがたくさんあり、有意義な訓練だったと思います。もし発災した時には、誰かに頼るのではなく、一人一人が主体的になって臨機応変に動いていくべきだと感じました。(施設管理部)



一日校長先生

ビーチバレー男子日本代表としてロンドン五輪に出場した朝日健太郎さんが、15日(月)、本校の一日校長を務めました。身長199cmの朝日さんに、「大きい」「本物だ」と子どもたちは目を輝かせていました。

インタビューの時間には、「背が高いと思った人？」という朝日さんの質問に、全校児童が手を挙げ、小学校6年生の時にすでに175cmあったことや、背を伸ばすために努力したことが「たくさん寝ること」だったことなどを教えてもらいました。「天沼小の印象は？」との質問には、「朝からたくさんの子が遊び、美しい校舎で元気いっぱいに過ごしている様子がとてもよかった」と答えていました。

